

開催日 2022年 12月 19日 (月)

2022年12月19日(月)に教育機関等イベントとして、中央高等学院とその提携校において「冬休み職業紹介(多様な医療関係の仕事)」がZoomで開催されました。

高校2、3年生の生徒さん28名(午前16名、午後12名)が参加しました。生徒さんは自宅からZoomで視聴しました。

当イベントの目的は、生徒が多様な職業があることを知るキャリア教育の一環として、医療の現場ではいろいろなメディカルスタッフ(医療専門職)が患者さんにかかわり、最適・最善なケアの提供をしていることを学び、自分の進路を考えるきっかけにすることです。

チーム医療推進協議会が事務局(窓口)となり、日本義肢装具士協会を含め5つの医療専門職の団体に声が掛けられイベントが実現しました。

プログラムは午前と午後の部に分けられ、各職種毎に20分の発表時間が割り当てられていました。当協会は午前の部で発表し、発表後は中央高等学院の白石氏と質疑応答を行いました。

参加した医療専門職は以下の通りです。

日本公認心理師協会、日本義肢装具士協会、日本臨床衛生検査技師会、
日本医療ソーシャルワーカー協会、日本視能訓練士協会

各職種の説明は20分となり、前回よりも大幅に話せる内容が濃くなりました。5つの医療専門職の話の一度に聞いたことは生徒さんにとって有意義な時間だったのではないのでしょうか。

以下にイベントの概要を説明します。

各医療専門職の説明

5つの医療専門職の団体から、写真や動画、クイズ、リアクションキーなどが利用され、わかりやすく仕事内容が紹介されました。各団体は20分の持ち時間のなかで

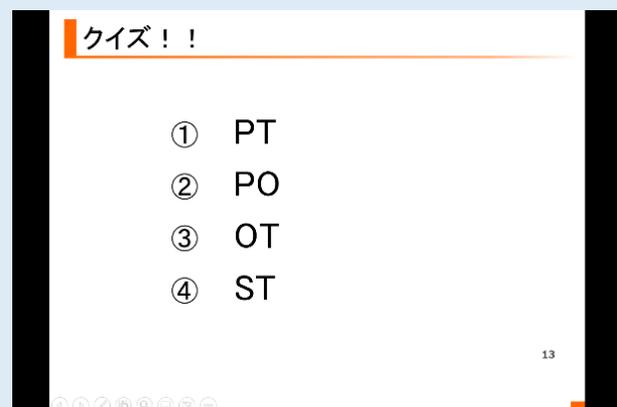
- ①仕事の内容
- ②どのようにその職種を知ったのか
- ③どうしてその職種を選んだのか
- ④どうしたらその職種の資格が取れるのか
- ⑤その仕事の魅力

について発表しました。

義肢装具士は前半2番目の発表でした。義肢と装具の説明、仕事内容の説明、そしてどうして義肢装具士を選んだかのお話をして、最後は義肢装具士の魅力を伝えました。途中で義肢装具士の英名略語に関するクイズも挟み、極力飽きない工夫をしました。

前回の発表時間は4～5分でしたが、今回は20分間に延長されたため、より多くの事が伝えられたのではないかと思います。

< Zoomの様子 >



イベントを終えて...

中央高等学院の高校生1、2年生を対象にzoomで医療関連の職業紹介として義肢装具士の紹介を行いました。発表時間が20分と前回よりも長かったため、中央高等学院指定事項に加え、義肢装具士の仕事について基本的な部分を詳しく伝えられたと思います。

今回は新たに発表資料を作成する必要がありましたが、前回資料を基に中央高等学院指定の項目を追加するなどして発表用の資料を作成したため、ゼロから作成するよりも短時間で完成できました。

事務局となったチーム医療推進協議会様にはデータのやり取りなど即座に対応していただき大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

担当幹事：菅野 太洋

アンケート(生徒の感想 一部抜粋)

- ・【1年生】
義足の作り方を知る事ができた。物作りで人の役にたてることがよく分かりました。
- ・【1年生】
義肢装具士は機能を補助したり、手足のない人の義肢などその人に合わせて作るなどとても大変な仕事だと分かりました。
- ・【1年生】
義肢装具士のお話では、知らない義肢が沢山あったので驚きました。また、1人1人にあった義肢を作る事が凄いなと思いました。
- ・【1年生】
1人1人の方が丁寧に教えてくれ、就職に関してなどもしっかり話してくれて、よく理解出来ました。
- ・【1年生】
本日はお時間を取って頂き有難うございました。講師の方々の紹介でまだ知らなかった分野について知ることが出来、将来の職業選択の幅が広がったと嬉しく感じ、価値のある時間でした。自分でも深く調べたいと思います。
- ・【2年生】
今日はとても勉強になりました。この経験を踏まえて自分の進路に活かしていきたいと思います。
- ・【2年生】
知らなかったことを沢山知れて興味が出たので少し調べてみようと思う。
- ・【2年生】
チーム医療に関して色々な職種を知ることが出来ました。ありがとうございました。